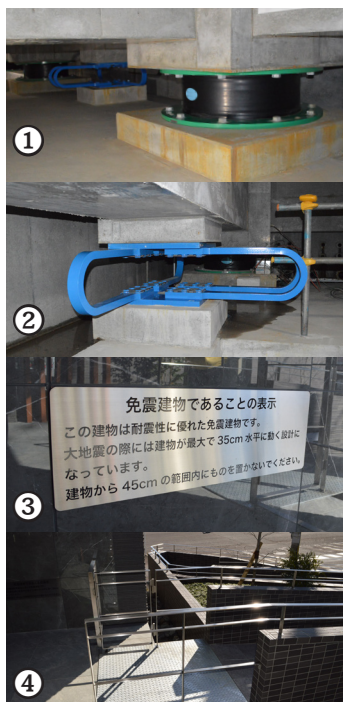




大分初 免震構造 分譲マンション



三光建設工業が長年技術を磨き続けてきた「免震構造」。この技術を活かしたマンションが完成しました。大分県初の免震構造分譲マンション「サンレスコ別府石垣東」です。従来の「耐震構造」では地震の時に、上層階になるほど大きく揺れて建物に変形するリスクがあります。しかし、免震構造は建物を支える免震装置（写真①②）が地震エネルギーを吸収し揺れを軽減します。大分県では、大分県庁がこの免震構造に改修済みで、その他、鎌倉大仏や大阪市中央公会堂等、重要建築物も免震構造へ改修されています。より安全により安心を追求した結果、免震構造の建物作りを追求し、この度、分譲マンションが完成しました。

サンレスコ別府石垣東 完成

サンレスコ別府石垣東には、玄関に免震建物であることの表示プレートがあり、注意事項が書かれています。（写真③）玄関スロープは地震時に接合部が動く仕組みを採用。（写真④）広々としたエントランススペース（写真⑤）があり、郵便受けの隣には共有の宅配ボックス。（写真⑥）湯の町別府ならではの天然温泉大浴場。（写真⑦）エレベーターには、ペットが乗っていることを示すボタン付き。全戸南向きの日当たりの良いベランダ（写真⑧）を出れば、右手に別府の山々が（写真⑨）、左手に別府湾が一望できます。（写真⑩）ただいま分譲中です。詳細は下のQRコードをご参照下さい。



地鎮祭の流れ

建物の建設が始まる前に安全祈願をする儀式、地鎮祭（じちんさい）。先日、『田の湯マンション』の地鎮祭を執り行いました。朝見神社の神主さんをお呼びして、どんな流れで地鎮祭が行われたのか詳しくお伝えいたします。



①儀式の流れが記載された神事次第。②会場は別府警察署の北側でした。③参加者は会場に入る前に入口で手を清めます。手水（ちょうず）と言われる儀式です。④神主さんが大麻（おおあさ）を使って参列者とお供え物を払い清める修祓（しゅばつ）の儀式。⑤神主さんが声を発して、祭壇にその土地の神様をお迎えする降神（こうしん）の儀式。⑥清祓之儀（きよめばらいのぎ）では、土地の四隅をお祓いし清めます。⑦地鎮之儀（じちんのぎ）は、青竹や笹の挿してある砂山をその土地に見立て、お施主様や施工会社でならし神主さんが「鎮め物」をするまでの儀式。お施主様が鎌を持って笹を刈り、当社の北村社長が掛け声と共に杭を打ち込み施工の安全を祈願しました。⑧地鎮祭後の集合写真。⑨今後の施工の流れなどをお施主様にご説明しました。⑩完成予想図。田の湯マンションは来年2月には完成引き渡し予定です。途中経過はサンコー新聞で随時お伝えいたします。

現場監督
のメモ帳

現場のいま

NOP 現場 編



現場監督
佐藤益信

（仮称）NOP 法人自立支援センター自社ビル新築工事では、今、地下階の躯体（くたい）工事をしています。躯体とは、建物の構造を支える骨組みの事で、鉄筋コンクリート造（RC造）の建物であれば、柱・梁・床スラブなど鉄筋を組み、コンクリートを流し込み作られる部分です。この躯体を造る工事が躯体工事です。



進捗状況は全体の11%です

7月の中旬には完成予定です

誕生月が
3月の
スタッフ

若年社員の
育成に努めます
阿部浩之

健康を管理します

安部弘尚

編集
後記

2月13日に福島県沖で震度6強の地震が発生しました。いどこで起こるか分からない地震に備えて、これからも『免震構造』の技術を磨き、安心・安全な建物を作っていきます。



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらをご覧ください。



HP



FB



最新情報
発信中！